

五・六丁目町内会 住環境新聞

第二号

2004年10月26日発行
五丁目町会
六丁目町内会
芝浦工業大学三浦研究室
子安直人
佐藤 元

街灯照度実測調査を行いました！



照度計を使用した実測調査の様子



計測場所を確認する様子



学生が説明している様子



**大雨をぎりぎりはずした
実測活動！**
9月22日に五・六丁目町内会区域内にある街灯、計157個の実測調査を行いました。参加者は住民が16人、サポートについた学生が6人の、計22人でした。
当日は大雨が降っていたため、実測調査の説明会が始まったのは予定より少し遅れてしまいました。雨がやんだのが8時くらいで、それを機に実測を開始しました。最終的に実測が終わったのは9時半頃で、途中、再び雨が降り出すといったアクシデントもありましたが、無事に調査を終えることができました。実測調査を行ったみなさんお疲れ様でした。



学生が説明している様子

上の写真は住民の方からの質問に学生が答えている様子です。実測調査においては必ず学生がサポートしますし、その他に疑問などがあった場合も学生に聞いていただきたいと思います。

【新聞の発行にあたって】

この草加市五・六丁目町内会住環境新聞は、住民の皆さまに住環境に対する興味を持っていただきたい、また住環境実測調査などの実際の活動に参加していただきたいとの思いを込めて発行しております。この新聞を読んで少しでも関心を持っていただければ幸いです。なお、この新聞は毎月発行する予定です。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

参加者のコメント

● 自分の住むまちのことは自分たちの足、目で確かめてみんなの考えでよくしていきたい。

● 6丁目中は非常に暗い。電柱の高いところに照明がついているが、もうすこし下につけたらよいと思う。

● 結構いつも通らない所を通れてたのしかったです。

実測後アンケートより

右の2枚の写真は実測調査を行っている際に撮影しました。街灯を探しているところと、記録シートに実測結果を記入しているところです。

街灯照度実測マップができました。

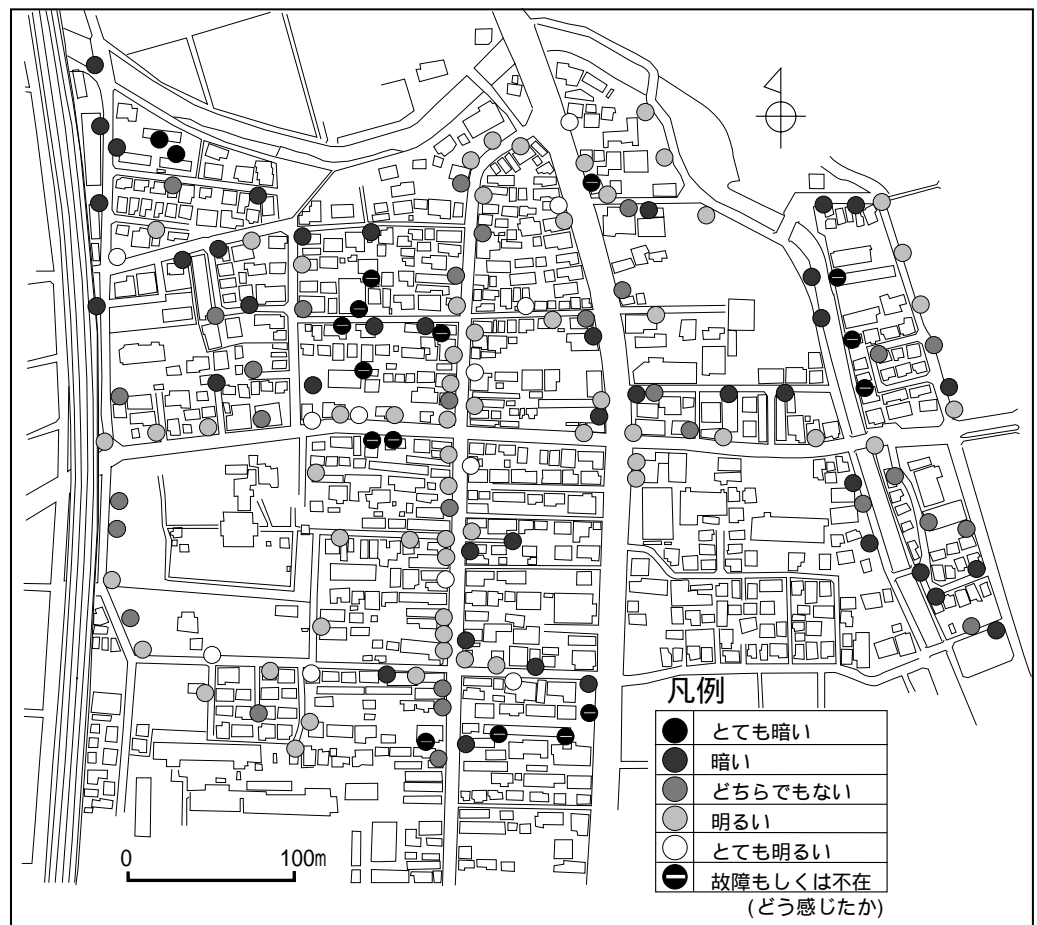


図1 感じ方の住環境マップ

今回行った実測の結果を、地図上に表してみました。

図1は調査に参加されたみなさんが、実測中にそれぞれの街灯に対してどう感じたのかを色の濃淡で表したものです。色が濃いほど暗いと感じた事になります。

図2は実際に計測器を用いて177点の街灯を実測した結果です。一方こちらは色が濃いほど暗いになります。夜間街灯の推奨照度は3ルクス以上となっています。

この点に注目すべき点は、明るさの感じ方と実際の照度が必ずしも一致していないことです。特に旧日光街道沿いの点の差に注目してください。

さい。実測値と感じ方に大きな差が見られます。これは町に必要な明るさは照度だけでは足りないかもしれないという問いかけをしています。

また、街灯が故障している場所や、「とても暗い」「とても明るい」と表示されている場所も注目すべきところだと思います。

このような場所は、安全性や快適性に影響のあるような場所として、今後どのような計画で改善していったらいいのか、考え方も含め皆さんで話し合いたいです。

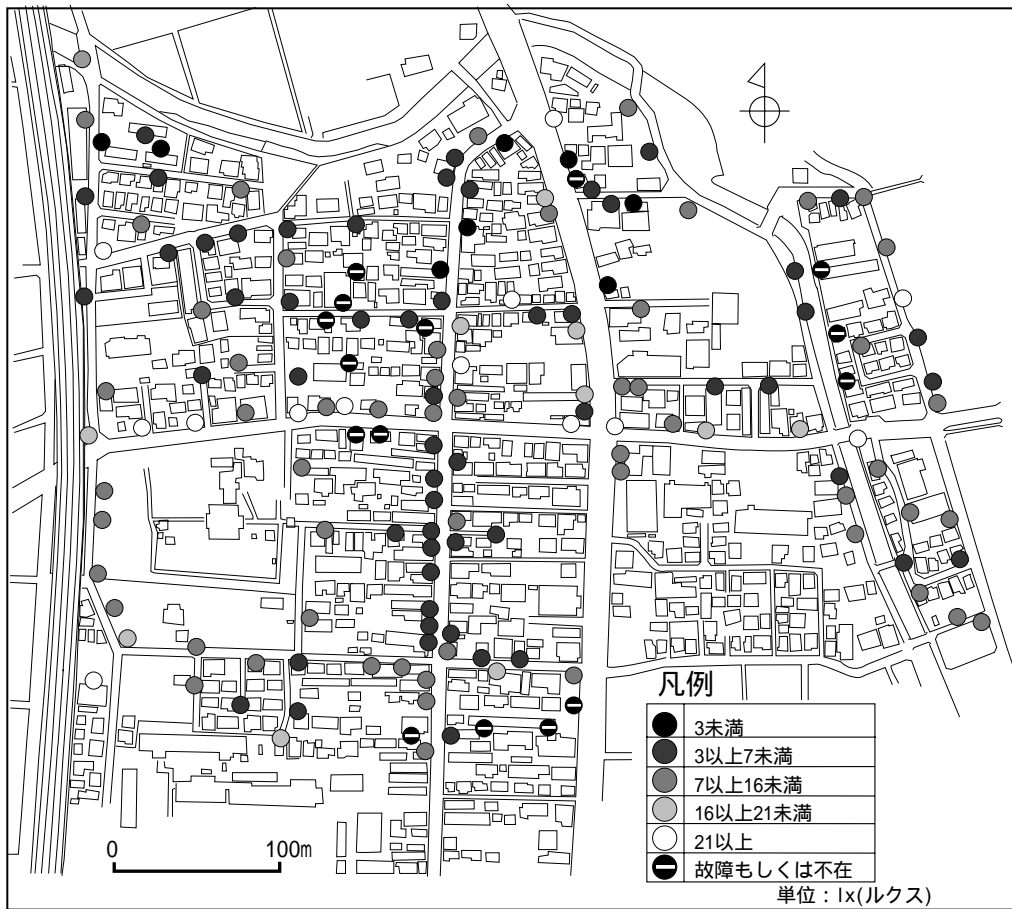


図2 実測値をもとに作成した街灯照度住環境マップ

第二回コラム(連載) 壊れている街灯はどうすればいいの？

第二回コラムは、前回の話し合いでこの住環境新聞の中心について話し合った際に六丁目婦人会の方から街灯が壊れているときに「私たちが出来ることは何か」を掲載したらどうか、との案をそのままコラムとして皆さんにお伝えすることにしました。そこで、六丁目町会長の卯原さんにインタビューして確認したことをお知らせします。

「点灯していない街灯を見つけたらどうしたらよいか？」

手順1 まず街灯の柱又は電球部に記載されている番号をメモする。

(例「E3496」 上記が壊れているわけではありません)

手順2 町会長さん(五丁目町会区域ならば萩野さん、六丁目町内会区域ならば卯原さん)に街灯の場所、番号と状況を連絡する。

手順3 各会長さんが市役所に町会として申請する。

以上の手順により町会名義で街灯を管理している市役所に申請する方法があることがわかりました。

みなさん、家の周辺で壊れている街灯を見つけたらまずは町会長さんへ報告してみるのもひとつの手です。

今後の実測参加が期待できるアンケート結果

図3に示した実測後アンケートの結果によると、問2の「実測参加によって照度への関心が高まったか」の質問に対して「高まった」と答えたのが94%にのぼり、みなさんにとって有意義であったのではないのでしょうか。問3の今後の実測への参加意思も、「ぜひ参加したい」・「参加したい」と答えた人が69%と高い参加意思が表れました。今後の実測活動もより多くの人が参加できる活動にしていきましょう。

また、問4の学生のサポートに関しては「とても良かった」・「良かった」で100%を占めました。研究室としては次回以降もサポートに徹し、実測や作業をみなさんと共に行う機会を積極的に作っていくよう皆さんと活動を進めていきます。

【アンケート質問項目】

- 問1 照度実測に参加する前、街灯照度への関心はどうでしたか。
- 問2 照度実測に参加して、街灯照度への関心は高まりましたか。
- 問3 今後このような共同実測活動に参加したいと思いますか。
- 問4 照度実測の際、学生のサポートはどうでしたか。

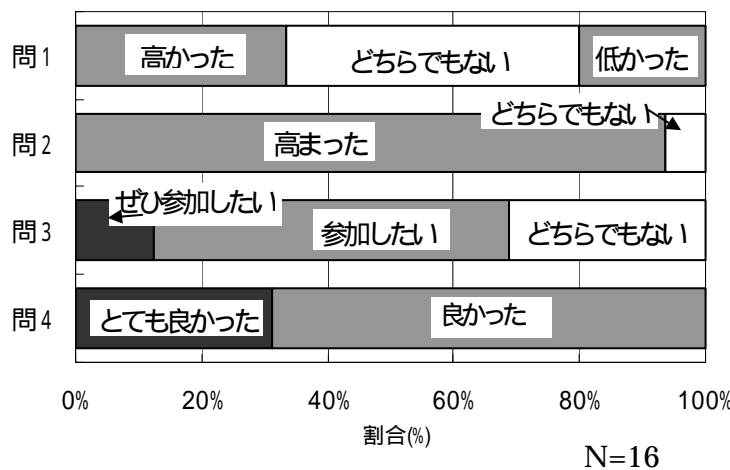


図3 照度実測調査後の関心の変化について

お問い合わせ先

芝浦工業大学
システム工学部
環境システム学科
三浦研究室
TEL 048-687-5832
FAX 048-687-5199
email:r01030@sic.shibaura-it.ac.jp
URL:http://www.mmlab.se.shibaura-it.ac.jp/
担当学生：子安直人 佐藤元

